4年度 事 業 報 告

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

コロナ過からの経済活動の回復により、令和 3 年から始まった石油価格の高騰は、ロシアのウクライナ侵攻により加速し、さらには急激な円安の進行も加わり、エネルギーだけではなく、食品はもとより、衣類、日用品や光熱費、輸送費など、生活に欠かせない商品やサービスの相次ぐ値上げが私たちの家計を直撃しました。

一方、変異株の出現による流行を繰り返してきた新型コロナウイルスは、行動制限が緩和され、社会経済活動の再開が進み、ひと段落つきそうな兆しが見えてきました。

当協会におきましても、「食の安全・安心と地産地消の推進」、「消費者力と地域力の向上」、「環境保全への対応」、「魅力あふれる協会づくり」を重点項目として事業計画に掲げた主要事業は、概ね計画通りに実施することができました。

3年ぶりとなったみんなの消費生活展の開催や、機関誌やホームページによる情報発信、消費生活展示コーナーや市役所市民ホールを活用した展示、くらしに役立つ知識を身に付けるためのセミナー、講座を開催するなどして消費生活の啓発に取り組みました。

また、地元の食材を使った料理講習会や加工研修会を実施し、地産地消の推進に努めたほか、環境関連施設などの視察研修を実施したところであります。

令和 4 年の北海道の特殊詐欺は件数、被害額ともに前年を大幅に上回り、被害額につきましては過去最悪に迫る状況でした。

当協会に寄せられた消費生活相談は、相談件数は昨年度よりわずかに減少しましたが、依然として1千件を超え、高止まりという状態が続いており、その内容は一段と複雑化・多様化しています。

こうした状況の中、市民が安心して相談できるよう相談体制の充実を図るとともに、悪質化、巧妙化している消費者トラブルを防ぐために、幅広い世代に応じた消費者教育を実施しました。

会員数の減少と高齢化に歯止めがかからない状況は続いており、協会活動を安定的に継続していくための担い手づくりは、依然として大きな課題となっているところであります。

以下、具体的事業の実施内容について報告いたします。

1　企画部　（部員６名、事務局３名）

消費者力と地域力を高めるため、消費生活に役立つセミナーを企画し、開催したほか、地産地消の取組みとして、地場産品の消費拡大等を目的に料理講習会等を実施した。

(1)　味噌作り講習会

地場産大豆を活用した味噌作り講習会を開催した。

(日　時) ①　第１回:令和４年４月２日(土) 10：00 ～ (20 名参加)
　　②　第２回:令和４年４月８日(金) 10：00 ～ (20 名参加)

(2)　地場産品料理講習会

地産地消を推進するため、地場産食材を活用した料理講習会を開催した。

(日　時) 令和４年 11 月 15 日(火) 10:00 ～ (14 名参加)
(場　所) とかちプラザ４階 調理室
(講　師) 山岸　厚子　氏、北出　愛　氏
(内　容) 地場産の農畜産物を使った料理の作り方を体験

(3)　牛乳・乳製品料理講習会

牛乳の消費拡大を図るため、牛乳・乳製品の料理講習会を開催した。

(日　時) 令和４年 12 月１日(木) 10:00 ～ (17 名参加)
(場　所) とかちプラザ　４階 調理室
(講　師) 十勝フードデザイン研究所　代表　工藤　一幸　氏
(内　容) 牛乳・乳製品を使った料理の作り方を体験
(協　賛) よつ葉乳業㈱

(4)　北海道米料理講習会（北海道米消費拡大事業）

北海道米の消費拡大を図るため、北海道米を使った料理講習会を開催した。

(日　時) 令和５年１月 19 日(金) 10:00 ～ (18 名参加)
(場　所) とかちプラザ　４階 調理室
(講　師) 食の寺子屋直歩塾　塾長　村田　ナホ　氏、代表　浦木　明子　氏
(内　容) 北海道米を使った料理の作り方を体験

(5)　牛乳・乳製品料理講習会（牛乳・乳製品消費拡大事業）

牛乳の消費拡大を図るため、牛乳・乳製品の料理講習会を開催した。

(日　時) 令和５年２月９日(木) 10:00 ～ (15 名参加)
(場　所) とかちプラザ　４階 調理室
(講　師) 山岸　厚子　氏、北出　愛　氏
(内　容) 牛乳・乳製品を使った料理の作り方を体験

(6) くらしのセミナー

スマホの基本的な操作やスマホ決済について学ぶセミナーを開催した。

・１回目

(日　時) 令和４年 10 月 28 日(金) 14：00 ～ (21 名参加)

(場　所) とかちプラザ ３階 会議室 304

(演　題)「スマホに慣れよう」

(講　師)　ドコモショップ帯広競馬場通店　光川　友士　氏、織田　貴子　氏

・２回目

(日　時) 令和４年 11 月 18 日(金) 14：00 ～ (19 名参加)

(場　所) とかちプラザ ３階 会議室 304

(演　題)「スマホ決済やってみよう」

(講　師)　ドコモショップ帯広競馬場通店　光川　友士　氏、織田　貴子　氏

(7)　動く講座

環境保全と地産地消を学ぶため、関連施設の視察見学を実施し、認識を深めた。

(実施日)　令和４年７月７日(木) 9：00 ～ (16 名参加)

(テーマ)「環境保全」及び「地産地消」

(調査先) ①鹿追町環境保全センター ②とかち鹿追ジオパーク・ビジターセンター③道の駅おとふけ

(8)　サークル活動

みんなの消費生活展展示に向けて新聞紙エコバックやハンカチを使った三角巾（ネコキャップ）を作成した。

(日　時) 令和４年８月 25 日(木) 12:30 ～ (6 名参加)

(場　所) とかちプラザ ３階 研修室 307

(9)　みんなの消費生活展における部の取組み

(令和４年 10 月１日・土・10:00～)

<u>※取組みの詳細は、「5　第 51 回みんなの消費生活展の実施」にて掲載</u>

2　啓発部　（部員５名、事務局３名）

協会の活動状況や消費生活関連情報を広く発信するため、機関紙の発行をはじめ、協会のホームページやフェイスブック等を効果的に活用した情報提供を行ったほか、各種消費者事業を通じた消費者意識の啓発に努めた。

(1)　機関紙 おびひろ消協だより「ささやき」の発行

①５月 10 日(臨時号) ② ６月 10 日(第 389 号) ③ ８月 10 日(第 390 号) ④ ９月 10 日(第 391 号) ⑤10 月 10 日(第 392 号) ⑥11 月 10 日(第 393 号) ⑦12 月 10 日(第 394 号) ⑧R５年１月 10 日(第 395 号) ⑨R５年３月 10 日(第 396 号)

⑵ 「消費者安心・安全ニュース」の発行

① 9 月 10 日(№14) ②12 月 10 日(№15)

⑶ 年間事業カレンダーの発行

6 月 10 日に会員へ発行したほか、協会のホームページに掲載し、広く周知を図った。

⑷ 消費者意識の啓発

次の事業をもって消費者意識の啓発に努めた。

① 消費者月間移動パネル展

(実施日) 令和 4 年 5 月 24 日(火) ～ 27 日（金）

(場　所) 帯広市役所市民ホール

(テーマ) 「考えよう！大人になるとできること、気をつけること～18 歳から大人に～」

(内　容) 啓発パネル、パンフレットの展示、協会活動の紹介

② 春のリサイクル広場

(実施日) 令和 4 年 6 月 1 日(水) ～ 3 日（金）

(場　所) 帯広市役所市民ホール

(内　容) 啓発パネル（3R 活動等)、新聞エコバッグ等の展示

③ 秋のリサイクル広場

(実施日) 令和 4 年 9 月 13 日(火) ～ 16 日（金）

(場　所) 帯広市役所市民ホール

(内　容) 啓発パネル（3R 活動等)、新聞エコバッグ等の展示

④ とかち・市民「環境交流会」2022

(実施日) 令和 4 年 11 月 26 日(土)

(場　所) とかちプラザ

(内　容) 環境保全に関する協会活動の紹介

⑸ みんなの消費生活展における部の取組み

(令和 4 年 10 月 1 日・土・10:00～)

※取組みの詳細は、「5　第 51 回みんなの消費生活展の実施」にて掲載

3 調査部 （部員 4 名、事務局 3 名）

消費生活に密接に係わる各種情報の収集と提供に努めるとともに、環境保全の観点から関係施設の施設見学を実施した。

また、マイナンバーに関する調査として勉強会を実施したほか、企画部と連携し、キャッシュレスに関連するセミナーを実施した。

⑴ 灯油、ガソリン、LP ガスの価格調査を毎月実施し、機関紙、協会ホームページ及び消費生活展示コーナー等において状況を周知するとともに、報道機関等

にも情報を提供した。

⑵　環境関係施設の見学

（視察先）十勝リサイクルプラザ

（実施日）　令和４年 11 月９日(水)

（内　容）　資源ごみの分別やリサイクルについて学習

⑶　塩分摂取を減らす調理法の調査

（日　時）令和４年７月 12 日(火) 13:00 ～

（場　所）とかちプラザ ４階 調理室

（内　容）牛乳を使って塩分を減らした料理を実習、レシピを機関誌の掲載や
みんなの消費生活展での展示により情報提供

⑷　マイナンバーカード勉強会

（日　時）令和４年６月 14 日(火) 14:00 ～（12 名参加）

（場　所）とかちプラザ ３階 特別会議室

（講　師）帯広市戸籍住民課　内藤　彩　氏

⑸　キャッシュレス決済に関する調査

スマホの基本操作とスマホ決済に関するセミナーの開催

※　内容の詳細は、企画部（6）くらしのセミナーに掲載

⑹　みんなの消費生活展における部の取組み

（令和４年 10 月１日・土・10:00～）

※取組みの詳細は、「5　第 51 回みんなの消費生活展の実施」にて掲載

4　各部共通（事務局含む。）

帯広市から受託した「帯広市消費生活アドバイスセンター運営業務」により、消費者から寄せられた相談に対し、解決に向けての助言、あっせんを行うほか、消費者被害の未然防止のための啓発に取り組むとともに相談員のスキルアップを図った。

また、弁護士を活用した法律相談会を実施したほか、地域や中学校、高校などにおける消費者教育を推進するとともに、消費者トラブル防止用の DVD や各種パンフレット等を購入し、教材として活用した。

⑴　相談員等のスキルアップ

①　北海道等が開催する研修・講座等へ参加し、相談員等のスキルアップを図った（主催９団体・36 講座・延 42 名参加)。

- 国民生活センター主催(Web 研修)　：　14 講座・17 名参加
- 国民生活センター主催(相模原市)　：　5 講座・6 名参加
- 国民生活センター主催(札幌市)　：　1 講座・1 名参加
- 北海道（北海道消費者協会）主催(Web 研修)　：11 講座・11 名参加
- 全国消費生活相談員協会主催(札幌市)　：　1 講座・1 名参加

・ 社会空間研究所主催(Web 研修)　　：　1 講座・2 名参加
・ 日本通信販売協会(Web 研修)　：　1 講座・2 名参加
・ 北海道電気通信消費者支援連絡会(Web 研修)　：　1 講座・1 名参加
・ 北海道建築指導センター(Web 研修)　：　1 講座・1 名参加

② 相談業務の充実に向けて参考図書等を購入し、相談員のスキルアップに活用した。
・ 「消費者法ニュース」、「消費者六法 2023」等の参考図書を購入した。

(2) 弁護士相談会及び案件相談(FAX)

① 弁護士相談会（アドバイスセンター相談室)の開催（**合計 8 回・22 件**）
・ 7 月 15 日(金) ― 増　本　梨　奈 弁護士（相談 2 件）
・ 8 月 19 日(金) ― 中　原　正　樹 弁護士（相談 3 件）
・ 9 月 16 日(金) ― 石　王　大　樹 弁護士（相談 2 件）
・10 月 21 日(金) ― 村　山　敬　樹 弁護士（相談 3 件）
・11 月 18 日(金) ― 小　宮　政　史 弁護士（相談 3 件）
・12 月 16 日(金) ― 丸　谷　　誠 弁護士（相談 2 件）
・ 2 月 17 日(金) ― 郷　田　真　樹 弁護士（相談 3 件）
・ 3 月 17 日(金) ― 丸　谷　　誠 弁護士（相談 4 件）

② 案件相談(FAX 相談)：丸　谷　　誠　弁護士
(実施日) 令和 4 年 4 月～ 令和 5 年 3 月　　<u>合計 3 件</u>

(3) 消費者意識の啓発（再掲）

① 消費者月間移動パネル展
(実施日) 令和 4 年 5 月 24 日(火) ～ 27 日（金）
(場　所) 帯広市役所市民ホール
(テーマ) 「考えよう！大人になるとできること、気をつけること～18 歳から大人に～」
(内　容) 啓発パネル、パンフレットの展示、協会活動の紹介

② 春のリサイクル広場
(実施日) 令和 4 年 6 月 1 日(水) ～ 3 日（金）
(場　所) 帯広市役所市民ホール
(内　容) 啓発パネル（3R 活動等)、新聞エコバッグ等の展示

③ 秋のリサイクル広場
(実施日) 令和 4 年 9 月 13 日(火) ～ 16 日（金）
(場　所) 帯広市役所市民ホール
(内　容) 啓発パネル（3R 活動等)、新聞エコバッグ等の展示

④ とかち・市民「環境交流会」2022
(実施日) 令和 4 年 11 月 26 日(土)
(場　所) とかちプラザ
(内　容) 環境保全に関する協会活動の紹介

(4)　消費生活展示コーナーでの企画展示及び啓発資料の展示・配布の実施

消費生活展示コーナーにおいて、常設展と年 4 回の企画展を実施した。

①　常設展

各種パンフレットやパネル等により協会活動に関する情報やくらしに役立つ情報の提供を行った。

②　企画展

第 1 回（5 月～7 月）「考えよう！大人になるとできること、気をつけること～18 歳から大人に～」

・情報商材、暗号資産、美容医療、18 歳・19 歳に多い消費トラブルなど

第 2 回（8 月～10 月）「知って、減らそう！食品ロス～大切な食べ物ムダにしていませんか～」

・食品ロスの現状、食品ロス削減目標、削減マニュアルなど

第 3 回（11 月～R5 年 2 月）「気を付けよう！こんな手口」

・老人ホーム入居権詐欺、還付金詐欺、フィッシングメールなど

第 4 回（R5 年 3 月～4 月）「事前に知って‼あるある“住居賃貸のトラブル”」

・原状回復、引越しサービストラブル、民法改正による賃貸借契約など

(5)　消費者教育の推進

①　地域消費者講座

東日常生活圏ちょっとした支え合いサポーターほか 11 団体・受講者 257 名に地域消費者講座を実施した。

○ 5 月 19 日(木)　東日常生活圏ちょっとした支え合いサポーター（13 名参加）：とかちプラザ
「高齢者を狙った特殊詐欺について」

○ 5 月 25 日(水)　はばたく青春（10 名参加）：広陽福祉センター
「特殊詐欺、悪質商法の手口と対策」

○ 6 月 24 日(金)　帯広市消費者講座（24 名参加）：とかちプラザ
「被害が多発！あなたも狙われているかも？」

○ 6 月 30 日(木)　清柳スポーツクラブ（20 名参加）：光南福祉センター
「契約についてのトラブルと詐欺について」

○ 7 月 22 日(金)　西陵クラブ（13 名参加）：啓西福祉センター
「高齢者を狙った特殊詐欺について」

○ 7 月 28 日(木)　西帯わかば会（25 名参加）：森の里コミセン
「特殊詐欺、悪質商法の手口と対策」

○10 月 14 日(金)　NT 実年会（34 名参加）：森の里コミセン
「契約についてのトラブルと詐欺について」

○11 月 9 日(水)　白樺長生会（18 名参加）：緑西コミセン
「特殊詐欺、悪質商法の手口と対策」

〇12 月 10 日(土)　豊成友愛（11 名参加）：豊成福祉センター
「最近の詐欺の手口と悪質商法」
〇1 月 9 日(土)　十勝地区里親会（65 名参加）：笹井ホテル
「成年年齢引き下げと若者の消費者トラブル予防」
〇3 月 23 日(木)　帯広市第１層生活支援コーディネート（13 名参加）：帯広市役所
「詐欺メールの事例や気をつけること」
〇3 月 31 日(金)　帯広市第１層生活支援コーディネート（11 名参加）：自由が丘福祉センター
「特殊詐欺・消費者トラブル」

②　消費者被害予防教育講座

【中学校講座】

帯広市教育員会が実施する「おびひろ市民学」において、市内 5 中学校の生徒 272 名に対して、ネットショッピングにおける消費者トラブル防止などの消費者被害予防教育講座を実施した。

・清川中学校　8/24(17 名参加)
・帯広第五中学校　8/26(113 名参加)
・八千代中学校　10/25(13 名参加)
・大空学園義務教育学校　11/9(56 名参加)
・帯広第二中学校　11/24 (73 名参加)

【高校・専門学校講座】

帯広柏葉高校など 7 校において、1,303 名に対し教材や DVD 等を使用して、若年者の消費者トラブル防止に向けた消費者被害予防教育講座を実施した。

・帯広コア専門学校　5/13(49 名参加)
・帯広北高校　10/12(201 名参加)
・帯広南商業高校　12/6（170 名参加)
・帯広農業高校　12/22（197 名参加)
・帯広三条高校　12/20～21、1/23～26(289 名参加)
・帯広工業高校　3/7(157 名参加)
・帯広柏葉高校　3/13・15・17・20・22(240 名参加)

【啓発資料の配布】

帯広緑陽高校、帯広畜産大学に消費者被害防止啓発資料を配布した。

(6)　マスコミ等を通じての情報提供

新聞、Chai、市広報紙等の媒体を通して協会活動に関する情報や消費者被害の実態と被害の未然防止に向けての情報を提供し、消費者啓発に努めた。

(7)　業者・関係団体との意見交換会

消費者と関連する団体との意見交換会に参加した。

○ 生命保険協会－令和 4 年 9 月 14 日（水）
○ 北海道地区新聞公正取引協議会－令和 4 年 10 月 12 日（水）

(8) みんなの消費生活展における各部共通の取組み

（令和 4 年 10 月 1 日・土・10:00～）

※取組みの詳細は、「5　第 51 回みんなの消費生活展の実施」にて掲載

5　第 51 回みんなの消費生活展

消費生活全般にわたる正確で多様な情報を提供･啓発することにより､自ら考え、自ら行動する消費者の育成と安全で安心できる消費生活を営むことを目的として開催した。

(期　間)令和 4 年 10 月 1 日(土) 10:00 ～ 16:00
(場　所) とかちプラザ：アトリウムほか
(テーマ)「こうしたい暮らし・未来を考える」
(主　催) 第 51 回みんなの消費生活展実行委員会(帯広市・帯広消費者協会)
(入場者数) 250 名

○ 第 1 回実行委員会(7/12)、第 2 回実行委員会・書面開催(1/20)
○ 第 1 回プロジェクト会議(7/26)、第 2 回プロジェクト会議(9/13)

【企画部】

○ 協会活動の紹介、協会加入案内
○ 地場産野菜・手作りみその販売

【啓発部】

○ 新聞紙エコバッグ作り体験
○ ネコキャップ作り体験
○ アクリルたわしの展示
○ 古布回収（古着、タオル等)

【調査部】

○ 減塩料理の紹介
○ 新洗濯表示制度の内容と実物表示を展示
○ 介護保険制度の展示
○ 成年後見人制度の展示と相談コーナー

【各部共通(事務局含む。)】

○ 消費生活に関するパネル展示（トラブル予防、暮らしに役立つ情報)
○ 地場農産物があたるスタンプラリー
○ クイズにチャレンジ(脳トレ等)
○ 特殊詐欺等の手口と防犯啓発(肉声再生) （協力：帯広警察署）
○ 協力企業による試供品の提供と製品の紹介等（ライオン、よつ葉乳業）

6　第 45 回 十勝消費者大会

（主　催）十勝消費者協会連合会　主管：中札内消費者協会

（日　時）令和 4 年 7 月 29 日(金) 10:00 ～（185 名参加：うち帯広協会 18 名）

（場　所）中札内文化創造センター　ハーモニーホール
（中札内村東 4 条南 6 丁目 1）

（内　容）大会テーマ「 地球環境に配慮した消費生活と、安全・安心な食生活を守ろう 」

①【講演会】

（演題）「感染症の調査中に食した世界のごはん～食の安全・安心について感じたこと～」

（講師）帯広畜産大学学長補佐　井上　昇　　氏

②【アトラクション】

中札内村無形文化財　石見神楽（元更別大国神社石見神楽保存会）

③【大会宣言】足寄消費者協会会長　遠藤　総一　　氏

7　第 59 回 北海道消費者大会

（開催日）令和 4 年 9 月 9 日(金)

（場　所）かでる 2・7「かでるホール」(札幌市中央区北 2 条西 7 丁目)

（参加数）帯広協会から 6 名参加、参加協会 32 協会

（内　容）テーマ「ひとに優しいデジタル改革とは～だれ一人取り残さないために～」

①【基調講演】

（演題）「だれひとり取り残さない　ひとに優しいデジタル改革をめざして」

（講師）デジタルクリエーター、ＩＣＴエバンジェリスト
若宮　正子　氏

②【パネルディスカッション】

（テーマ）デジタルライフ～地域消費者の未来について～

「パネリスト」

・山本　　強　　氏（北海道大学名誉教授）
・武田　佳世子　氏（札幌消費者協会デジタルライフ研究会代表）
・宮本　康子　　氏（上砂川消費者協会事務局長）
・所　　健一郎　氏（北海道総合政策部次世代社会戦略局局長）
・長島　博子　　氏（北海道消費者協会会長）
・若宮　正子　　氏（デジタルクリエーター、ＩＣＴエバンジェリスト）

「コーディネーター」

武　野　伸　二　氏（北海道消費者協会専務理事）

8　会議の開催

○　定時総会　―　5 月 26 日
○　理 事 会　―　①4 月 15 日（書面開催）　②9 月 16 日 ③12 月 16 日
　　④3 月 17 日
○　決算・業務監査　―　4 月 13 日
○　三役会議　―　①4 月 8 日（書面開催）　②9 月 2 日③12 月 9 日
　　④3 月 8 日
○　企画調整委員会　―　4 月 6 日、R5 年 3 月 30 日
○　企 画 部 会　―　11 回
○　啓 発 部 会　―　11 回
○　調 査 部 会　―　11 回
○　事務局会議　―　11 回

9　帯広市消費生活アドバイスセンター運営受託業務

21,369 千円の委託料（うち消費者行政推進事業費 3,806 千円）を受け、「帯広市消費生活アドバイスセンター」の運営業務を執行した。

相談件数は、1,230 件、前年度対比 32 件減、割合で 2.54%の減となっている。

(1)　受託体制

○ センター長 1 名、事務長 1 名、消費生活相談員(嘱託職員)5 名、相談・事務補助員(パート雇用)1 名によりアドバイスセンター業務を執行した。

(2)　相談室 令和 4 年度の相談件数内訳　　(単位：件)

	商品一般	食料品	住居品	光熱水品	被服品	保健衛生	教養娯楽
本年度	108	96	42	32	56	125	91
前年度	139	87	57	23	70	73	85
増△減	△31	9	△15	9	△14	52	6

	車両・乗物	土地・建物・設備	他商品	役 務	その他	計
本年度	40	20	2	569	49	1,230
前年度	30	27	3	612	56	1,262
増△減	10	△7	△1	△43	△7	△32

注；前項「役務」件数の内訳

	ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ	ﾚﾝﾀﾙ・ﾘｰｽ	金融・保険	運輸・通信	教養・娯楽	その他のｻｰﾋﾞｽ	計
本年度	3	68	118	103	93	184	569
前年度	3	91	88	89	132	209	612
増△減	0	△23	30	14	△39	△25	△43

(3)　消費生活展示コーナーでの企画展示及び啓発資料の展示・配布の実施（再掲）

消費生活展示コーナーにおいて、常設展として通年パンフレットやパネルによる情報提供をするとともに、年４回特定のテーマで企画展を実施した。

・第１回（5 月～7 月）「考えよう！大人になるとできること、気をつけること～18 歳から大人に～」

・第２回（8 月～10 月）「知って、減らそう！食品ロス～大切な食べ物ムダにしていませんか～」

・第３回（11 月～R５年２月）「気を付けよう！こんな手口」

・第４回（R５年３月～4 月）「事前に知って!!“あるある“住居賃貸のトラブル“」

(4)　消費者啓発情報の発信（再掲）

①　機関紙 おびひろ消協だより「ささやき」の発行（9 回）

②　「消費者安全・安心ニュース」の発行（2 回）

(5)　相談員等のスキルアップ（再掲）

①　北海道等が実施する研修・講座等へ参加し、相談員等のスキルアップを図った(主催 9 団体・36 講座・延 42 名参加)。

②　相談業務の充実に向けて参考図書等を購入し、相談員等のスキルアップに活用した(「消費者法ニュース」、「消費者六法 2023」ほか)。

(6)　消費者教育の推進（再掲）

①　地域消費者講座

東日常生活圏ちょっとした支え合いサポーターほか 11 団体・受講者 257 名に地域消費者講座を実施した。

②　消費者被害予防教育講座

【中学校講座】

帯広市教育員会が実施する「おびひろ市民学」において、市内 5 中学校の生徒 272 名に対して、消費者被害予防教育講座を実施した。

【高校・専門学校講座】

帯広柏葉高校など 7 校において、1,303 名に対し消費者被害予防教育講座を実施した。

【啓発資料の配布】

帯広緑陽高校、帯広畜産大学などに消費者被害防止啓発資料を配布した。

(7)　消費者講座等の教材等の整備

消費者教育講座等の充実のため、DVD をはじめ教材等を購入し、活用した。

(教材･参考図書)

・消費者トラブル対策ワークブック
・くらしの豆知識 2023
・消費者六法(2023 年版)
・こんなときどうする？消費のギモン Q&A
・消費者被害予防啓発クリアファイル
・消費者法ニュース

(DVD)

・特殊詐欺対策！「絶対大丈夫」あなたの過信

(8)　弁護士相談会及び案件相談(FAX 相談)(再掲)

①　弁護士相談会（アドバイスセンター相談室)を開催（計 8 回)
(弁護士) 増　本　梨　奈　弁護士 ほか 6 名の弁護士
(期　間) 令和 4 年 7 月 ～ 令和 5 年 3 月の間
(件　数) 計 22 件

②　案件相談「FAX 相談」
(弁護士) 丸　谷　　誠　弁護士
(期　間) 令和 4 年 4 月 ～ 令和 5 年 3 月の間
(件　数) 延べ 3 件

(9)　高齢者セミナー

高齢者の消費者被害を防ぐための情報を提供し、高齢者の権利や財産を守るための知識を学んでいただくため、とかちプラザ 4 階 講習室 402 にて講演会を開催した(令和 4 年 12 月 15 日：33 名参加)。

【講演会】

(演題)「消費者被害の実例と相続・後見の基礎知識」
(講師) 弁護士　丸　谷　　誠　　氏

(10)　業者・関係団体との意見交換会（再掲）

消費者と関連する生命保険協会、北海道地区新聞公正取引協議会との意見交換会に参加した。

10　審議会及び行政・関係団体等会議

○　とかち財団評議員会: ① 4/1・(書面開催) ②4/12・(書面開催) ③6/9・(書面開催) ④7/7・(十勝産業振興センター)

○　帯広市社会教育委員会議：　①6/9・（市役所）②9/1・（幕別町百年記念ホール）
③11/11・（プラザ六中）④2/21・（市役所）
○　帯広市社会福祉協議会評議員会:①6/28・(グリーンプラザ)②3/29（グリーンプラザ）
○　働き方を変えるクラウド活用セミナー:7/28・(経済センタービル)
○　十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会 8/10・（書面開催）
○　帯広市公営企業経営審議会:①8/31・(市役所)②2/24・(ソネビル)
○　帯広市環境審議会:8/31・(市役所)・2/22（市役所）
○　帯広市情報審査会：①8/2（市役所）②8/31・(市役所)
○　とかち広域消防事務組合情報審査会：8/31・(市役所)
○　帯広商工会議所情報メディア部会総会:9/28・(商工会議所)
○　十勝地区消費生活地域協議会:10/24・(十勝総合振興局)
○　帯広市公営住宅審議会:10/27・(ソネビル)
○　食品表示制度セミナー:11/14・(十勝総合振興局)
○　帯広市環境モデル都市推進協議会：11/18・(書面開催))・
○　帯広市行財政改革推進委員会：　10/3（市役所）・3/1（市役所）
○　帯広市地域脱炭素の実現に向けた戦略策定調査業務意見交換会：
①12/23・（ソネビル）②2/8・（市役所）
○　帯広市消費生活審議会:2/16・(書面開催)
○　とかちプラザ運営審議会:2/21・(とかちプラザ)
○　帯広市犯罪のない安全なまちづくり推進連携会議:2/27・(市役所)
○　OCTV 放送番組審議会: 2/28・(十勝毎日新聞社)
○　十勝エコロジーパーク財団理事会:3/6・(エコロジーパーク)
○　北海道貸金関係連絡会帯広拡大幹事会 3/14・(リモート開催)
○　帯広交通圏タクシー事業適正化・活性化協議会：3/16・（北海道運輸局帯広運輸支局）

11　後援名義使用の承認

○　2022FP フォーラム in 道東＆金融経済講演会（11 月 3 日開催）

12　十勝消費者協会連合会関係

○　定例総会：4 月 26 日・(帯広協会 4 名参加)
○　理事会：①4 月 26 日(帯広協会 3 名参加) ②6 月 21 日(書面会議) ③12 月 8 日(帯広協会 3 名参加)
○　第 45 回十勝消費者大会（再掲）：7 月 29 日・中札内・(帯広協会 18 名参加)
○　地域消費者問題懇談会：　2 月 24 日・(帯広協会 10 名参加)

13 （一社）北海道消費者協会関係

○　定時総会：5 月 31 日(帯広協会 1 名参加)

○　理事会：①5 月 10 日(帯広協会 1 名参加)②7 月 13 日(帯広協会 1 名参加)
③11 月 11 日(帯広協会 1 名参加)④3 月 24 日(帯広協会 1 名参加)

○　消費者運動代表者会議：①7 月 13 日(帯広協会 1 名参加)
②11 月 11 日(帯広協会 1 名参加)

○　第 59 回北海道消費者大会（再掲）：9 月 9 日・(帯広協会 6 名参加)

○　各種要請書、意見書の共同提出

・灯油をはじめとする物価抑制と生活支援を求める緊急要請

・北海道電力の料金値上げ申請に対する意見表明

14　会員の現況　（令和 5 年 3 月 31 日現在）

各種セミナーや講習会、消費生活展などで、新規会員獲得の活動を行ったが、新規入会者は僅か 4 名に対し退会者は 23 名で、年度末において、19 名減の 332 名と減少傾向に歯止めがかからず、今後もこの傾向は続くものとみられる。

将来にわたって安定的に活動を継続していくため、協会活動の重要性について広く理解と関心を深めていただくための取り組みを強化し、会員増強を図るとともに、事業の見直しなどを検討し、効率的な協会運営を進める必要がある。

○　会員数 332 名（前年度 351 名　　対前年度比△19 名）

【 参考 】　個人会員　294 名（前年度 312 名　　対前年度比△18 名）
企業会員　　38 社（前年度 39 社　　対前年度比 △1 社）

「注 ： 事業報告の内容に補正する重要な事項がないため、附属明細書の添付は省略いたします。」